

犬童議員（民主県政会）

平成 30 年 9 月 26 日

知事答弁実録

（教育委員会）

（問）広島県大学等進学奨学金の拡充について（再質問）

知事は「誰一人置き去りにしない」という言葉を掲げられているが、この問題は、予算を拡大してでも知事がやる気があるかどうかだと思う。

知事の決意を聞きたい。

（答）

ただ今教育長が答弁したとおり、財源として高等学校等奨学金特別会計を充てておりますので、その収支見通しというのは重要かと思っております。

また、それとは別枠で考えていくかどうかということについては、今回の募集状況等、あるいはその効果等についても考えて、検討していかなければならないと思っております。

特に、子供の貧困の連鎖を断ち切っていくという観点からは様々なことが必要だと考えておりまして、大学進学におけるこの奨学金はもちろん重要なことでございます。

一方で、残念ながら、経済的・社会的背景によって、そもそも大学進学の学力をつけることが出来ない子供たちもたくさんいます。

そういった子供たちを救うことも非常に重要なことでございます。

したがって、何にこの財源を充てていくかということは慎重な検討が必要だというふうに考えているところでございます。